

考えてください「いのち」のこと

「性」と「命」の教室開催

村では、青少年に係る「性」の問題が深刻化していることから、学校における「性」「命」に関する指導を充実させようと、専門講師を招いての教室を実施しました。

今年度は、相農飯館分校での思春期教室のほか、より早いうちから命の大切さ、尊さを学んでもらおうと、初めて中学生を対象とした「いのちの教室」も開催しました。

パートⅠ「いのちの教室」^{11/22} 飯館中学校

講師：坪井病院（郡山）ホスピス 清水 千世さん

教室では、ホスピスにおける末期がんの人たちの様子や生き様を通し、「いのち」について考える機会を提供。中学生たちは「生きること」に対して真剣に考えていました。



いのちの教室を終えて～感想～

- ・毎日色んなことで悩んでかなり苦しかったけど、今日の講演で自分が生きていることに意味があるんだと思った。
- ・命の大切さを改めて感じる事ができ、とても深く考えさせられた。
- ・命の重要さや、自分の存在する意味、自分はどんな存在なのかを見直すことができた。

パートⅡ「思春期教室」^{12/5} 相農飯館分校

講師：川俣高校養護教諭 高橋 美代子先生

教室では、性感染症についての講話に続き、望まぬ妊娠から中絶に至ってしまうストーリーのドラマを見た後、各班に分かれてグループワークを行いました。教室の中で高橋先生は「性＝心＋生（心と心を理解し合って生きていくこと）だから性＝SEXではない。心と心の結びつきの延長上に体の結びつきがある。性の関係を急がないで」と生徒らに呼びかけていました。

また、生徒らは、自分たちがこれから幸せな恋愛をするために大切なことは何か、性の大切さ、相手への思いやりなど様々なことをグループワークを通して話し合い、それぞれ発表していました。

思春期教室を終えて～感想～

- ・将来のことなどをきちんと考えて行動することが大切だと思った。
- ・男にも女にも責任があるので、後悔をしない行動を心がけたい。
- ・悩んだ時は一人で考え込まず、大人の人に相談したいと思う。
- ・知らない言葉の意味などが分かった。



佐藤真弘さんに銀色有功章^{12/8}

このたび、佐藤真弘さん（二枚橋）が日本赤十字社福島県支部長（佐藤 栄佐久知事）からの銀色有功章を受けられました。銀色有功章は、日本赤十字社に対し多くの社費を納めた方に贈られるものです。

なお、村で平成17年度に募集した社費総額は158万2,900円となっています。

お互いの気持ちを理解することが、幸せな恋愛をするために大切なことなんだよ…
そうだよね…